

慶應義塾大学ビジネス・スクール

有限会社ドコイコ(2005)： 地域発ITベンチャーの挑戦(1)¹

5

1. きっかけ

1-1 起業の背景 高松市の商店街の衰退

現在、地域においては、新しい産業振興のために様々な模索がなされている。四国地域においても、そのような試みとして注目されている一つの若者たちがいる。

10

「僕らは最終的に、香川のみんなで大きな祭りをしたいと考えているんです。若い人が主役になって、もちろん老若男女問わず参加してもらって。それがドコイコの目標であり、僕らの活動の原点でもありますね。」

15

こう語るのは、有限会社ドコイコの代表取締役社長を務める河野大輔氏である。有限会社ドコイコは、地域密着型情報検索サイト「ドコイコ」を運営する、2005年11月に生まれた若いベンチャー企業である。

彼らは、地域に特化したウェブサービスを提供して地域を活性化させることを目標に、日々さまざまな活動を行っている。どうして彼らは、そのようなサービスが必要とされていると考え、起業に至ったのだろうか。

20

進学のために東京へ出ていた河野氏が、香川に帰り最初に見たものは、衰退して活気を失ってしまった商店街の姿だった。

郊外への大型店舗の進出により、さまざまな地域の商店街が衰退に直面している。日本

25

¹ このケースは、香川大学経済学部 山田仁一郎・草間一人によって、公開資料ならびにインタビューに基づき、クラス討議の資料として作成されたものであり、経営管理上の適否を例示するものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、ケースの複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail case@kbs.keio.ac.jp）。また、ケースの注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/case/index.html>。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、本ケースのいかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またはいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送は、これを禁ずる。

30